



---

# 2022年9月期

---

## 決算説明資料

---

2022年11月15日

株式会社篠崎屋 2926

<https://www.shinozakiya.com>



## 2022年9月期の取組み

コロナ禍においては臨機応変な取組みで対応する

三代目茂蔵『健康ブランド向上』をテーマに  
商品開発力と販売力の強化へ

豆腐・豆乳・おからに加えて  
健康を深掘する  
新たな素材による  
商品開発力



店舗数減少でも  
売上を確保するための  
販売力

健康ブランド向上による新たな成長期への準備

# 取組内容

顧客の来店頻度向上を目的に**朝市等のイベント実施**



高い売上が見込める**催事販売等を定期的**に実施

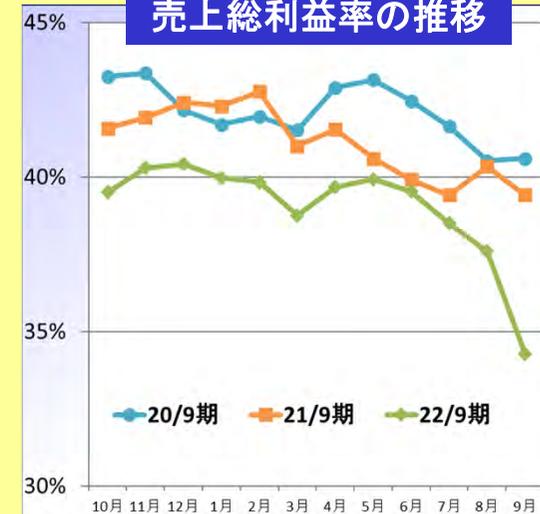


原材料上昇による価格転嫁を慎重に  
実施することにより**収益面での課題を残す**



**雑穀弁当・いなり・太巻きを主軸に  
価格据置き健康ブランド向上を優先**

売上総利益率の推移



# 損益計算書

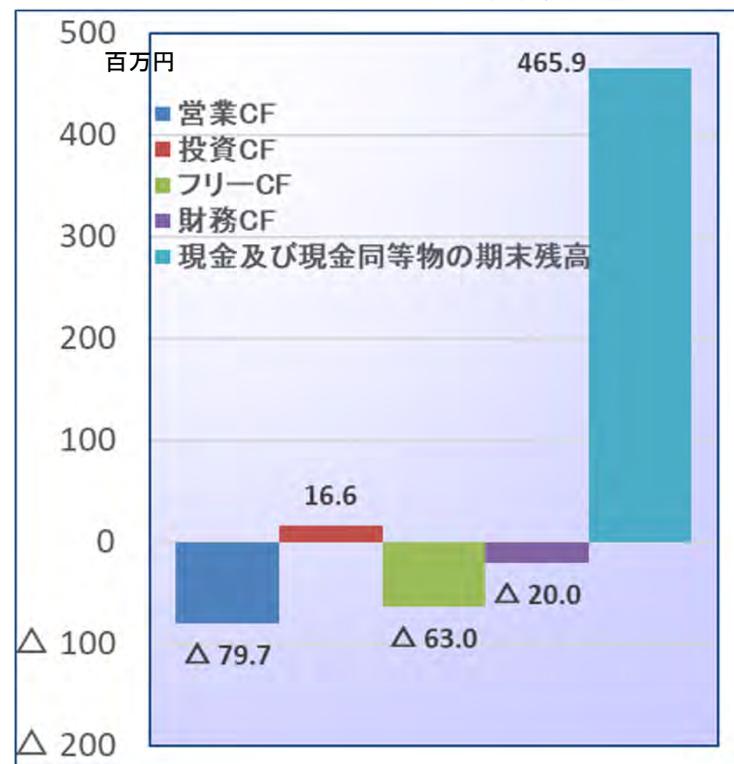
単位：千円	21年9月期	構成比	22年9月期	構成比	前年同期比
売上高	3,022,641	100.0%	2,791,296	100.0%	92.3%
小売事業	2,706,932	89.6%	2,418,009	86.6%	89.3%
その他事業	315,709	10.4%	373,286	13.4%	118.2%
売上原価	2,015,673	66.7%	1,895,988	67.9%	94.1%
売上総利益	1,006,968	33.3%	895,308	32.1%	88.9%
販管費	970,466	32.1%	956,139	34.3%	98.5%
営業利益	36,501	1.2%	△ 60,831	△ 2.2%	—
営業外収益	681	0.0%	358	0.0%	52.6%
営業外費用	468	0.0%	334	0.0%	71.4%
経常利益	36,714	1.2%	△ 60,807	△ 2.2%	—
特別利益	0	0.0%	145	0.0%	—
特別損失	2,345	0.1%	16,946	0.6%	722.6%
当期純利益	13,056	0.4%	△ 94,395	△ 3.4%	—

# 貸借対照表及びキャッシュフロー計算書

## 貸借対照表

単位:百万円	21年9期	22年9期	増減額
流動資産	697	605	△ 92
現金及び預金	548	465	△ 83
売掛金	66	61	△ 5
棚卸資産	38	38	0
固定資産	794	747	△ 47
有形固定資産	646	620	△ 26
無形固定資産	2	4	2
投資その他の資産	145	122	△ 23
資産合計	1,491	1,352	△ 139
流動負債	296	271	△ 25
買掛金	170	155	△ 15
未払金	46	44	△ 2
固定負債	39	19	△ 20
純資産	1,156	1,061	△ 95
負債純資産合計	1,491	1,352	△ 139

## キャッシュフロー計算書

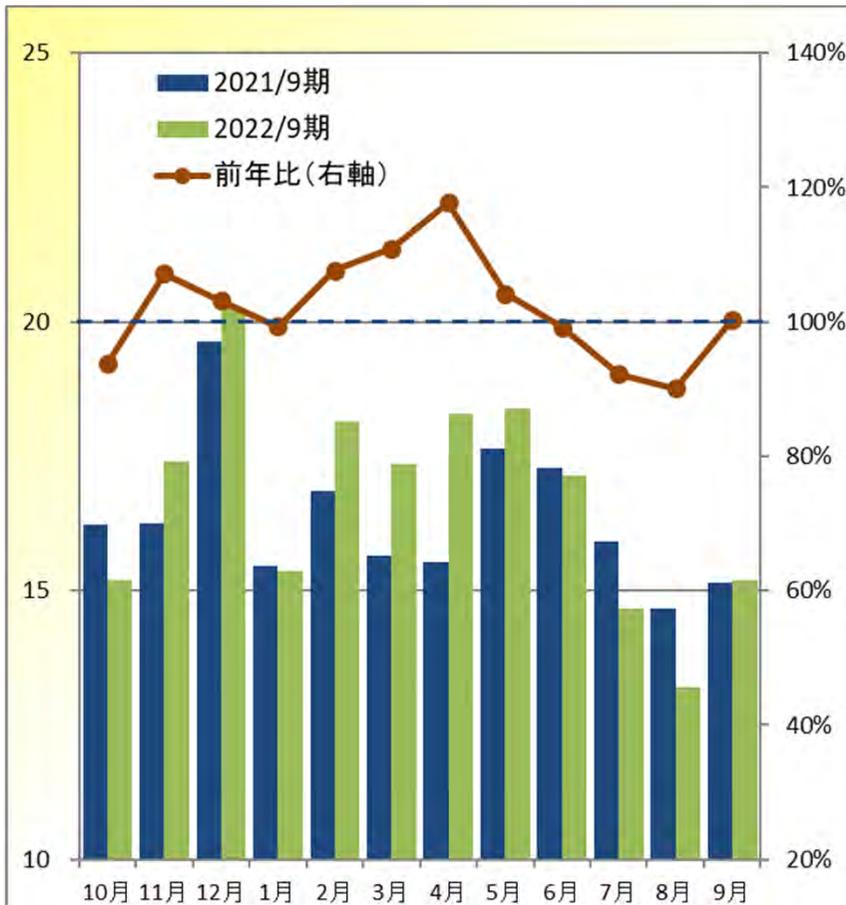


- 9店舗閉店による売上減少に伴い現預金減少
- 建物等の減価償却に伴い有形固定資産減少
- 借入金の返済に伴い固定負債の減少
- 純損失計上に伴い純資産の減少

# 直営店舗の実績

1店舗平均売上高は16.8万円→16.6万円(前年比98.6%)  
 上半期平均前年比99.1%から下半期平均前年比98.0%  
 ⇒健康ブランド向上のために朝市等イベント強化し顧客数は増加傾向

1店舗平均売上高推移 (単位:万円)



顧客数・顧客単価の前年比推移



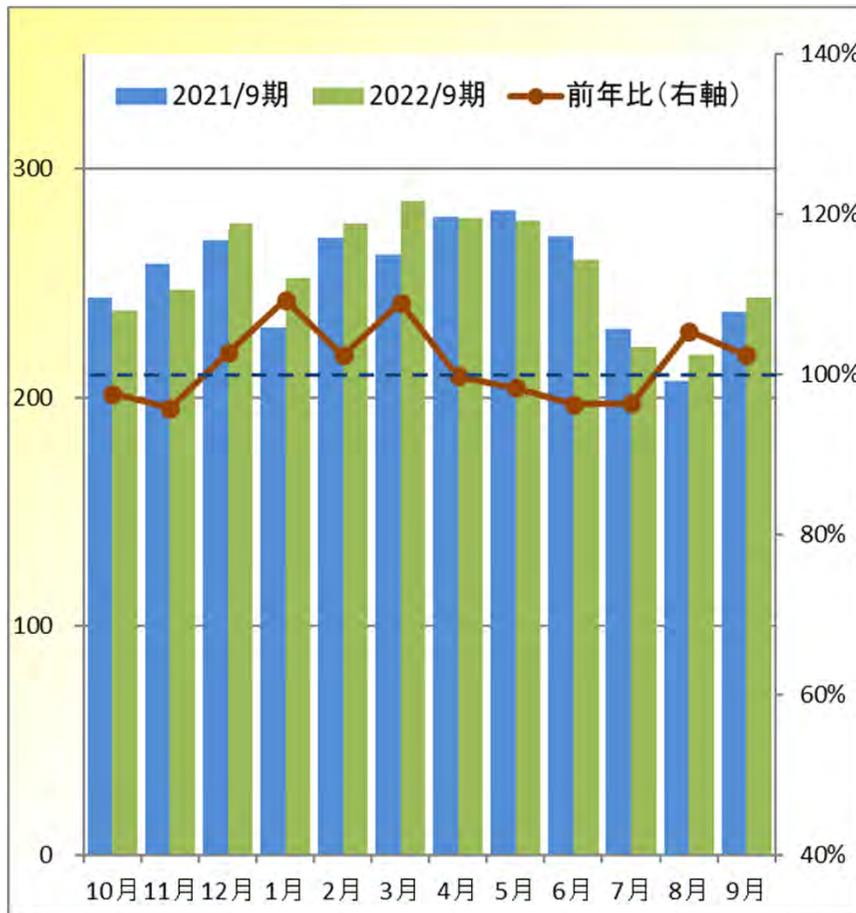
# 顧客数の結果

1店舗1日平均253人→256人(101.2%)

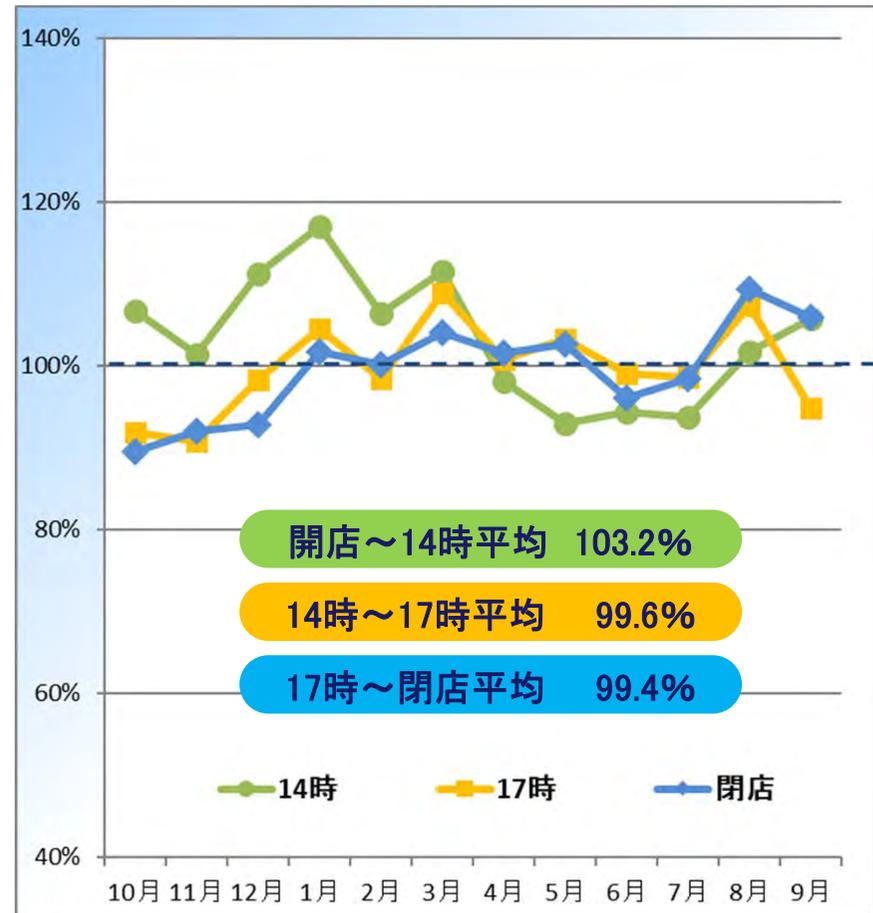
1Q前年比98.8%、同2Q106.7%、同3Q98.1%、同4Q101.3%

⇒ 8月以降に朝市等のイベントを再強化し顧客数増加を図る

1店舗平均顧客数の推移 (単位:人)



時間帯別1店舗顧客数前年比推移

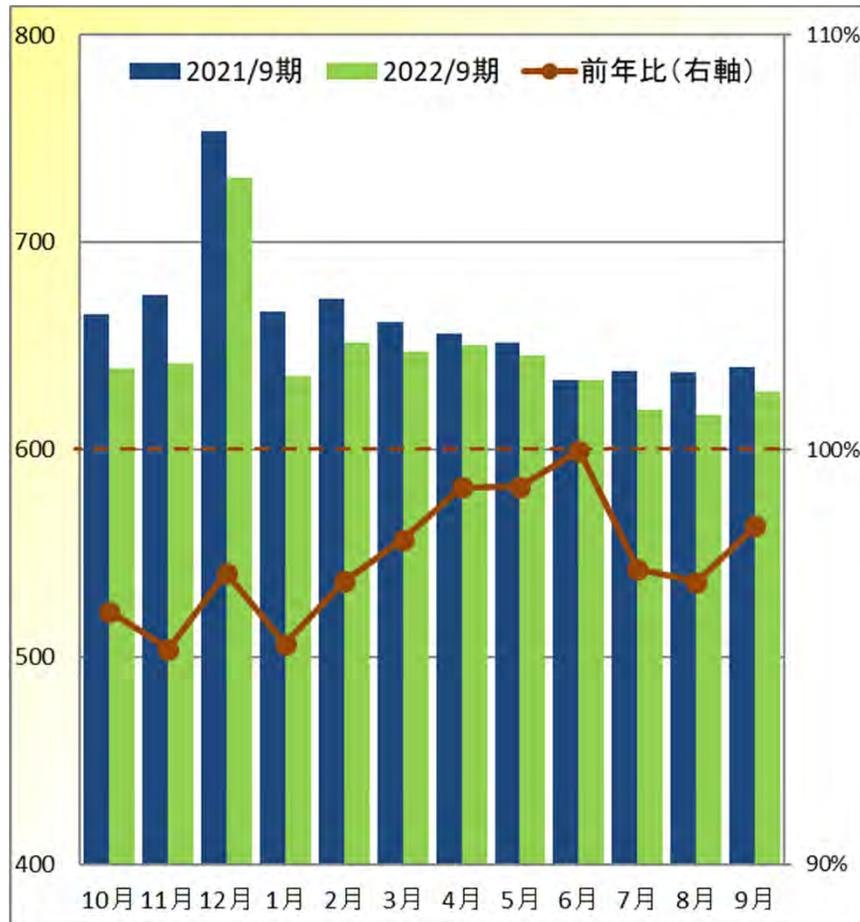


# 顧客単価の結果

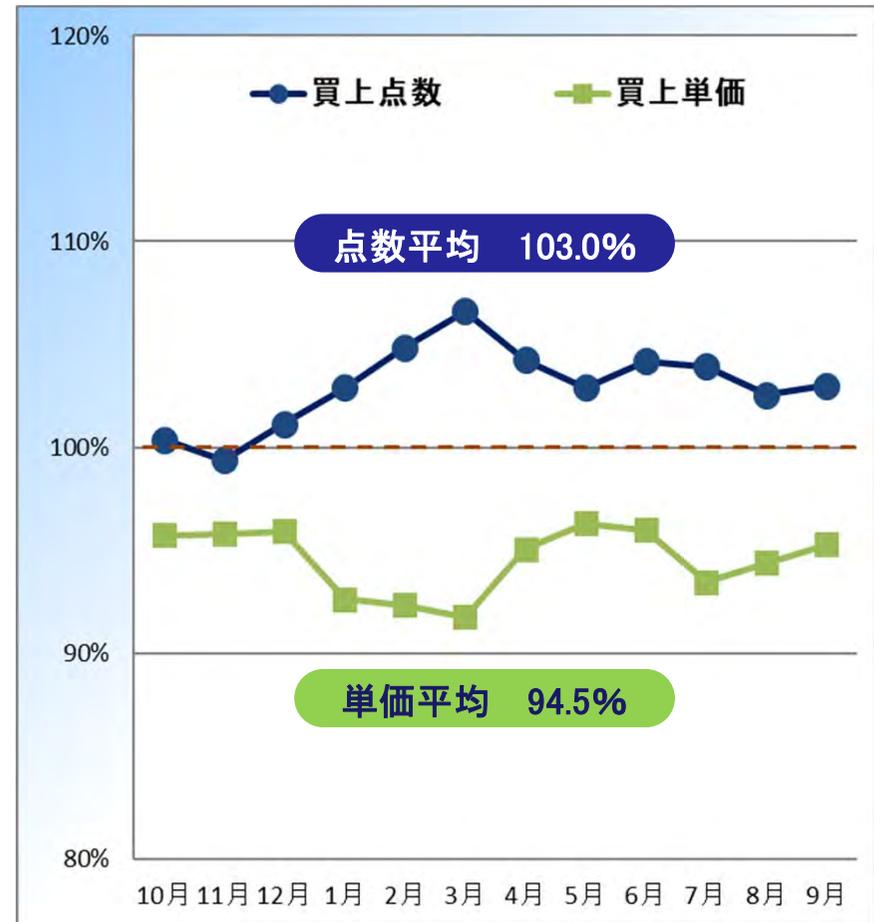
顧客単価は663円→645円(97.4%)と18円減少

⇒朝市等のイベント効果により買上点数は3.46個→3.56個(前年比103.0%)、  
一方で買上単価は192円→181円(前年比94.5%)

顧客単価の推移 (単位:円)



買上単価・買上点数前年比推移

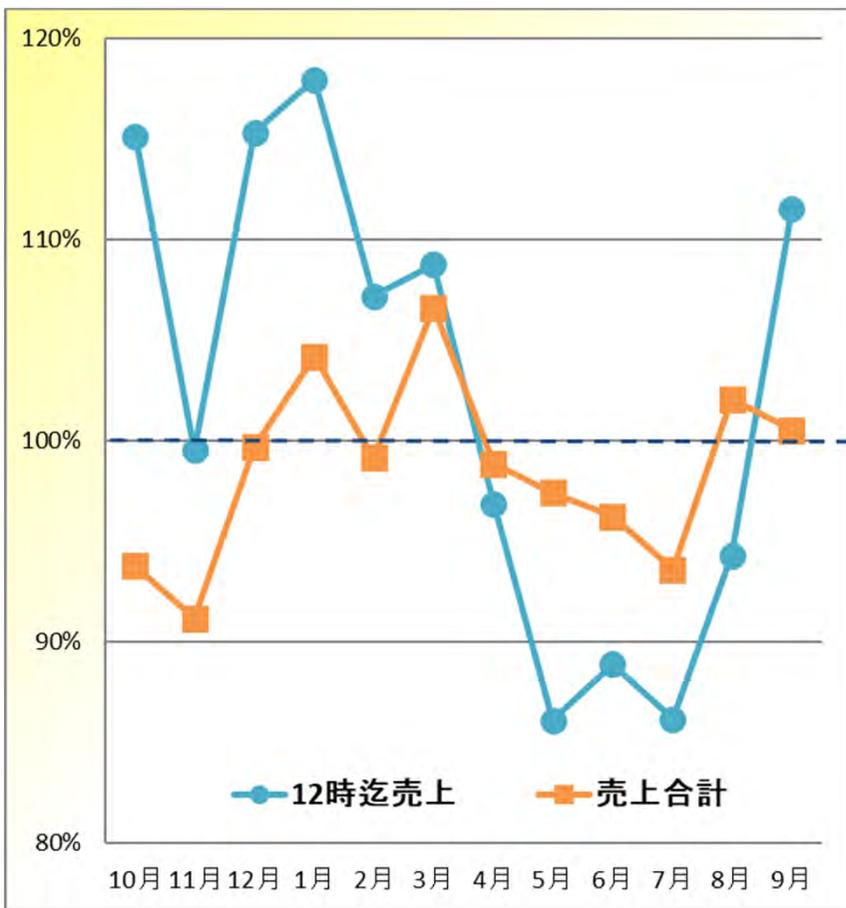


# 朝市の結果

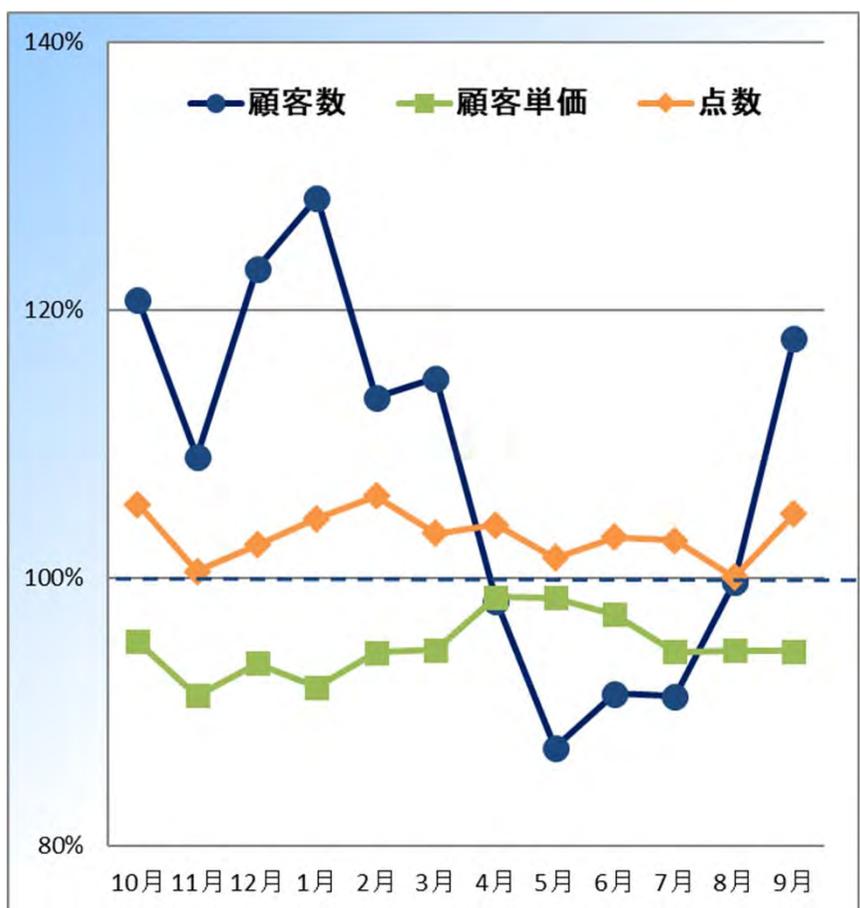
第3四半期以降(4月~7月)停滞も8月から再強化  
 ⇒ 朝市再強化で顧客数増加  
 ⇒ 売上増加へ

▶ 茂蔵の健康ブランド認知度向上へ

売上高・朝市前年比



朝市客数・単価・点数前年比



## 2023年9月期の取組み

「いいものをより安く」への原点回帰  
⇒ 顧客数増加を最優先へ

**販売** ⇒ 企画等を見直し、消費者に買い易く

容量が多く安い企画から、消費者に買い易い価格帯へ  
⇒ 使える顧客単価で何アイテム購入してもらえるか  
(顧客単価以上の日常商品は企画見直して買い易い価格へ)

おすすめアイテムを絞り込み店舗の売り場を見直し

**商品開発** ⇒ 協力工場のOEM生産を見直し

茂蔵オリジナル商品の品質・開発強化  
仕入価格の安定化

顧客来店頻度向上による売上増加へ  
⇒ 茂蔵の健康ブランド向上による新たな成長期へ

## 2023年9月期 通期業績について

天候・景気動向・コロナ禍等の外部要因の予測が困難なため、現時点では開示いたしません。  
情報開示につきましては、  
月次ベースで店舗等の情報を開示します。

### お問合せ先

#### 【担当者】

取締役管理グループ長

兼経営企画部長兼IR室長

矢立 実

TEL : 048・970・4949

FAX : 048・970・4889

E-Mail : [shinozakiya\\_ir@shinozakiya.com](mailto:shinozakiya_ir@shinozakiya.com)

URL : <https://www.shinozakiya.com/>

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2022年9月末現在の財務データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

# 株式の状況

(2022年9月末日現在)

	株主数	株式数	株式数分布比率
個人・その他	6,758	11,837,149	81.99%
金融機関	1	40,200	0.28%
その他法人	33	1,030,100	7.13%
外国法人等	33	123,500	0.86%
証券会社	17	1,126,851	7.81%
自己株式	1	278,800	1.93%
合計	6,843	14,436,600	100.00%

## 大株主情報

株主名	持株数	議決権比率
樽見 茂	3,029,900	21.40%
篠崎屋取引先持株会	455,500	3.21%
(株)鈴木物産	373,000	2.63%
(株)ハギワラ	350,000	2.47%
篠崎屋役員持株会	330,200	2.33%
樽見 登美子	289,000	2.04%
JPモルガン証券(株)	285,200	2.01%
(株)篠崎屋	278,800	—
松井証券(株)	268,400	1.89%
楽天証券(株)	256,700	1.81%

